

Labo News

らぼニュース

発行所 社団法人愛知県臨床衛生検査技師会
住 所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電 話 052-581-1013
F A X 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
普通口座731-677
発行人 松本 祐之
編集人 堀 隆彦

No.364 目次

- ◆(社)愛知県臨床衛生検査技師会
平成24年度 第1回定期総会 …… (2)
- ◆第13回愛知県医学検査学会
受付時の不具合について …… (2)
- ◆第13回愛知県医学検査学会概要報告 … (3)
- ◆第23回三河感染免疫研究会 …… (5)
- ◆平成24年度
日臨技中部圏支部輸血研修会 …… (6)
- ◆研究会 …… (7)
- ◆第7回日本臨床検査学
教育学会学術大会のご案内 …… (7)
- ◆第9回西三河がんフォーラム …… (7)
- ◆AICCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信 (第10回) …… (8)

臨時総会への参加のお願い

庶務部長 藤田 孝

来る8月25日(土)午後3時00分から4時30分まで、名古屋市中村区の愛知県産業労働センター ウィンクあいちにおきまして、社団法人愛知県臨床衛生検査技師会平成24年度臨時総会を開催いたします。この総会では、平成25年4月認定を目指して準備を進めております公益社団法人の定款(案)と初代役員選任についてご審議いただきます。

当会は、平成20年12月1日に「公益法人制度改革関連3法」が施行されたことに伴い、公益認定を目指すか、一般法人認可にとどまるかについて理事会を中心に議論いたしました。税制等について検討も加え、長時間にわたる審議の結果、公に認められた、より公益性の高い団体であるべきと、公益社団法人認定を目指すこととし、平成19年度第2回定期総会におきまして会員の皆様にご承認いただきました。その後、認定取得対策委員会9回、申請のために県へ出向き申請書類や定款改正案について相談すること7回、会計基盤の見直しや会計士への相談などを繰り返すとともに公益事業費率50%の確保に心掛け、いよいよ申請への準備が整って参りました。公益社団法人の申請に当たっては、定款を改正する必要があります。その定款改正案と公益社団法人設立時の役員について総会で承認していただき、申請書とともに提出しなければならず、今回の総会開催となりました。

定期総会での一般的な議案承認は、正会員の半数以上の出席(委任状可)による総会成立と、出席正会員の半数以上の賛成によりご承認いただくという手続きを踏みます。今回の臨時総会で議案として挙がっている定款改正については、定款は社団法人の目的や組織・活動などを記した根本規則であるので、変更には普通よりも加重された決議要件が課されており、特別な手続きが必要となります。当会におきましては、正会員の半数以上の出席(委任状可)による総会成立と、出席正会員の4分の3以上の賛成によりご承認いただくという手続きが規定されております。つまり、より多くの皆様にご出席いただくことが必要になります。

今回の定期総会で定款改正案をご承認いただけませんと、公益社団法人への申請を行うことが出来なくなってしまいます。会員の皆様には是非とも臨時総会にご出席をいただき、当会及び臨床検査の発展のためご意見をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

(社)愛知県臨床衛生検査技師会 平成24年度 第1回定期総会

副会長 相山 広美

去る、5月27日(日)名古屋市立大学病院中央診療棟大ホールにて(社)愛知県臨床衛生検査技師会平成24年度第1回定期総会が開催されました。今総会では、平成23年度の事業報告と会計報告をご審議いただきました。また、追加議題として平成24年3月17日行われた平成23年度第2回定期総会にて承認されました「平成24年度予算」のうち一部変更の提案がありました。

はじめに、松本会長の挨拶では、平成23年7に行われた法人設立25周年記念式典について、また、公益社団法人取得にむけ準備を進めていること、そして日本臨床衛生検査技師会の動向等が報告されました。その後、議長に赤田邦夫氏、梅村千恵子氏が、総会運営規程により書記、資格審査委員・議事運営委員、議事録署名人が選出承認されました。資格審査委員長より本日現在(16時45分現在)の会員数は2,653名で、出席者150名、委任状数1,656名、合計1,806名と報告があり、議長が定款第22条の規程により総会が成立したことを宣言し、その後、議事運営委員長より総会日程の報告があり議事審議に進みました

第1号議案の平成23年度の事業報告について、松本会長から事業全般の報告がありました。総務部門(庶務部・会計部)は相山副会長から報告があり、定款改定案の作成、公益社団法人取得準備を中心に説明がありました。学術部門(学術部・精度管理事業部・臨床検査標準化事業・外部精度管理小委員会)は岸副会長から報告があり、第50回の中部医学検査学会が盛大に開催されたこと、スキルアップ研修会、臨床検査標準化事業等活発な学術活動が行われた旨説

明がありました。渉外部門(組織部・広報部・地区活動)は中井副会長から各地区の活動、ボランティア活動や各種公益事業の説明がありました。各部門とも議案書に沿って平成23年度予定されていた事業が滞りなく行われたことの報告でした。報告後の質疑応答では、日臨技全国伝達研修会(輸血)の研修会名の一部修正のご意見をいただき議案書を訂正することになりました。その他質問はなく賛成多数で承認されました。第2号議案の平成23年度会計報告は、森田会計部長から、一般会計、学会事業特別会計、財産目録の報告がありました。第3号議案は、山崎監事から、平成23年度監査報告として、会務遂行状況、会計経理状況及び資産の管理状況について滞りなく会務が遂行されているとの報告がありました。第2・3号議案の報告に対し、質問はなく両議案とも賛成多数で承認されました。第4号議案は「健康増進費支出の備考欄の海岸清掃(打合)を事業改善活動支出備考欄へ移動する。尚、金額は据え置く」という内容の提案で、これは会計士からの指導により、海岸清掃等その他の公益事業や組織強化事業を事業改善活動費支出にまとめるための変更です。第4号議案についても質問等無く承認され、総会は終了しました。

総会終了後、愛知県健康福祉部健康担当局長の加藤欽一氏(代読：健康担当生活衛生課吉兼博美氏)を来賓としてお迎えしご挨拶をいただいた後、表彰式が執り行われました。第12回愛知県医学検査学会学術奨励賞は、牧野恭子氏、金沙玲氏2名が受賞され、永年職務精励者の56名の方々に表彰状が授与されました。おめでとうございます。

第13回愛知県医学検査学会受付時の不具合について

平成24年5月27日に名古屋市立大学医学部・病院で開催されました医学検査学会受付時に不具合が生じ、10名の会員が未受付状態になっています。

ホームページより [日本臨床衛生検査技師会](#) → [会員専用ページ](#) → [会員情報確認](#)
→ [生涯教育履修歴](#) で各自確認し、登録されていない場合は
愛知県臨床衛生検査技師会 TEL052-581-1013 までご連絡ください。

第13回 愛知県医学検査学会概要報告

学会長 脇本 幸夫



第13回愛知県医学検査学会は(社)愛知県臨床衛生検査技師会主催の下、尾張南地区の担当で、5月27日(日)名古屋市立大学医学部医学研究棟・病院を会場として開催いたしました。

好天にも恵まれ、会員449名、非会員43名、賛助会員81名、一般22名、合計595名の参加で盛況に開催することができました。以下に第13回愛知県医学検査学会の開催概要を報告いたします。

1. 一般演題

3会場に分かれて、午前中に一般演題発表が行われました。41題の発表があり、各会場とも大勢の会員が訪れ、熱の入った発表と活発な質疑が行われました。



2. ランチョンセミナー、機器展示コーナー

ランチョンセミナーは3会場で実施されました。いずれの会場も満席で、最新の良い情報が得られたと思います。機器展示コーナーには8社がエントリーし、どのブースも人の絶えることがなかったと伺いました。

3. 公開シンポジウム

公開シンポジウムは「育成」をテーマに、教育担当としてご活躍の4名のシンポジストの先生に講演をいただきました。

公開シンポジウム1「研修医教育の現場から」

中京病院臨床研修センター専従医：

長谷川 泉 先生

先生は、「大学で教育されてきたのは【医学】であるが、病院の現場で求められるのは【医療】であり、この【医学】から【医療】を滑らかにつなぎ、その質を担保することが重要な課題である」と述べられ、自院の臨床研修センターが取り組んでいる企画を紹介してくださいました。企画の中には、新研修医が薬剤部、放射線部、検査部等への院内ツアーもあり、医療の基礎を学ぶには医師だけでなく、院内の各部署を知り、コミュニケーションを図ることが最も大切であることを示されました。

公開シンポジウム2「看護師育成の現場から」

名古屋市立大学病院 看護部 小黒智恵子 先生

先生は、教育担当の副看護部長として人材育成に携わった経験から、新人看護職員教育の動向と実際について紹介してくださいました。自院の教育課程として、厚生労働省からの「新人看護師臨床研修ガイドライン」に基づき、きめ細やかな支援を行っているが、指導者の育成や基礎教育現場との連携にはまだまだ問題があることを課題とされていました。

公開シンポジウム3「大学教育者として」

藤田保健衛生大学 医療科学部 大橋 鉦二 先生

先生は、臨床検査技師を排出する学校の教育者として、教育制度の問題、教育施設側の課題を取り上

げ、ご講演くださいました。「医療現場での臨床検査技師は、臨床への参画が積極的にできていない」ということが現状の問題であり、教育施設として臨床現場の動向を敏感に察知し、ニーズに合った技師を育てていくことが今後の課題であると述べられました。

公開シンポジウム4「臨床検査技師現場から」

四日市社会保険病院 検査部 加藤 正彦 先生

加藤先生は、新人教育を中心にお話いただいた他のシンポジストの先生とは違う視点から、現場の臨床検査技師、新人からベテランまでの育成についてご講演くださいました。臨床検査技師が、医療の一員として患者の傍らに立った時、患者の主訴、医師の診断過程・治療方針、検査意図を把握し、共同作業員として問題解決作業に当たるという能力はまだまだ充分とは言えないことを問題点として挙げ、自院が行っている「目標設定」「評価」「コーチング」などをキーワードとして、原点に戻った技師の育成を述べられました。

総合討論の場では、フロアや司会者からの質問に対し各先生方のご返答およびご意見をうかがうことが出来ました。司会者から「今、臨床検査技師に求めるものは？」の質問に対し、全ての先生から「臨床検査技師の積極的な医療現場への参画」を述べられました。加藤先生が最後に「明日から技師の皆さんも患者さんの顔を見に行ってください」と言われたのがとても印象的でした。

平成24年6月10日現在 会員数2,652名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。

4. 公開特別講演



宇宙航空研究開発機構：JAXA技術顧問、
大同大学学長 澤岡 昭 先生

「20年目を迎えたわが国の有人宇宙活動」と題して公開特別講演が行われました。先生が今まで日本人宇宙飛行士と深くかかわってこられ、日本の宇宙開発に尽力されていることが伝わってきました。また、宇宙に人を送ることは、長期、中期計画に基づき、計画的に気長に努力をした結果であると思いました。最後に、教育者としての考え方を、ご自身の順風満帆でなかった時代も例に出し、熱く語られ「絶えまぬ努力の重要性」は、ホール一杯の聴衆の心をとらえていました。

最後に、ご後援をいただいた愛知県、愛知県医師会をはじめ、支えていただいた愛臨技役員、賛助会員の方々や実務委員に深く感謝申し上げます。

お詫びと訂正

らぼニュース6月号6ページ左上、生理検査研究班講演会案内で間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

名古屋医療センター 乳腺科

正 森田 孝子

誤 森田 孝

第23回三河感染免疫研究会

日 時：2012年7月28日(土) 15:00～

会 場：ホテルアソシア豊橋 5階ザボールルームA

豊橋市花田町西宿無番地 TEL：0532-57-1010

内 容：

15:00～15:10 【製品紹介】マクロライド経口製剤「クラリス」

開会の辞

蒲郡市民病院 薬剤部 岡田 成彦 先生

15:10～15:40 一般講演

一般演題、数題を予定

座長：トヨタ記念病院 感染症科 川端 厚 先生

15:40～16:40 特別講演1

座長：碧南市民病院 内科 杉原 卓朗 先生

『したたかな細菌とどうつきあうか』

－遷延・反復感染症の病態と治療－(仮題)』

和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 山中 昇 先生

16:40～16:50 休 憩

16:50～17:50 特別講演2

座長：飯沼伊藤医院 飯沼 雅朗 先生

『わが国における性感染症の現状と課題』

富士市立中央病院 病院長 小野寺昭一 先生

閉会の辞

安城厚生病院 原 徹 先生

共催：三河感染・免疫研究会 愛知県病院薬剤師会 大正富山医薬品(株)

平成24年度 日臨技中部圏支部輸血研修会

主 催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

担 当：社団法人 愛知県臨床衛生検査技師会

【テ ー マ】 輸血療法における安全管理体制 – 輸血医療における臨床検査技師の使命 –

【日 時】 平成24年9月8日(土)～9月9日(日)

【場 所】 講 演 会 名古屋市立大学病院 中央診療棟4階 第一会議室

実技研修 名古屋市立大学医学部 基礎教育棟4階 微生物実習室

【内 容】

<1日目> 9月8日(土)

12:30～13:00 受付

13:00～13:15 開講式・オリエンテーション

13:15～16:15 【伝達研修】 全国輸血研修会の伝達講習（ビデオ研修）

1. 『日本における輸血療法の安全確保に関する方針・指針』

2. 『血液製剤の安全管理』（発注・保存・使用までの流れ）

3. 『検査時の安全管理』（日常検査における盲点）

16:15～16:30 休憩

16:30～17:30 【専門講演】 カラム凝集法による輸血検査

17:30～18:00 実技研修オリエンテーション

<2日目> 9月9日(日)

08:30～09:00 受付

09:00～15:00 【実技研修】 1. 血液型（ABO・Rh）

（昼休憩を含む）

2. 交差適合試験

3. 不規則抗体の検出

4. その他追加検査

5. 解説

15:00～ 閉講式・修了証書授与

【定 員】 60名（定員になり次第締め切らせていただきます）

【受 講 料】 5,000円（会員、非会員とも）

【宿 泊】 必要な方は各自で手配してください。

【申込方法】 下記申込事項について、E-mailでお申し込み下さい。申し込み受領メールで、研修会のご案内をお送りします。申込み後1週間以内に、受領メールが届かなかった際には、問合せ先にご連絡下さい。

尚、携帯電話からの申込みはご遠慮下さい。E-mailで申し込みできない方は問合せ先にお尋ね下さい。

【申込事項】 ①会員番号 ②氏名 ③カナ氏名 ④性別 ⑤施設名 ⑥所属 ⑦郵便番号

⑧施設住所 ⑨TEL（内線）

【申込期限】 平成24年8月17日(金)

【申込先・問合せ先】 中部労災病院 臨床検査科 中井 美千代

〒455-8530 愛知県名古屋市港区港明1-10-6

TEL 052-652-5511(内線7907) FAX 052-652-2949

e-mail chubu2012yuketu@yahoo.co.jp

※ 研修会に関する詳細および最新情報は、愛知県臨床衛生検査技師会・輸血検査研究班のホームページでお知らせしますのでご確認ください。

研 究 会

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日 時：平成24年8月4日(土) 15:00～17:00

場 所：厚生連豊田厚生病院 2階 第1会議室

テ ー マ：日常業務のヒヤリ・ハット事例について

講 師：1.「日常における事例報告」

トヨタ記念病院 土澤 尚美

2.「問い合わせ事例報告と対応について」

①試薬メーカーの立場から

和光純薬株式会社 長尾 健次

②機器メーカーの立場より

株式会社日立ハイテクフィールドディング

笠井 猛

司 会：厚生連 豊田厚生病院 山田 幸司

名古屋第二赤十字病院 原 景子

内 容：日常検査において遭遇するひやり事例について施設間で共有しましょう。また、トラブル時に素早い復旧のためにもコールセンターに何を伝えればよいのか整理しましょう。

第7回日本臨床検査学 教育学会学術大会のご案内

専門教科：20点

日 時：平成24年8月22日(水)～24日(金)

場 所：名古屋国際会議場

主 催：日本臨床検査学教育協議会

後 援：文部科学省 厚生労働省

日本臨床衛生検査技師会(日臨技)

参 加 費：日臨技会員¥3,000円(会員証提示)

大 会 長：寺平 良治(藤田保健衛生大学)

副大会長：涌澤 伸哉(名古屋大学)

奥村 伸生(信州大学)

教育講演Ⅰ：「人材(財)育成にはたす検査部の役割」

和田 隆志(金沢大学医薬保健研究域医学系血液
情報統御学教授・附属病院検査部長)

教育講演Ⅱ：「検査と病理診断」

長坂 徹郎(名古屋大学大学院医学系研究科教授)

ランチョンセミナー：

「循環器バイオマーカー Up-to-date」

石井 潤一(藤田保健衛生大学医学部教授・大学病院臨床検査部長)

座 長：岸 孝彦(愛知医科大学病院)

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

パネルディスカッション：

「臨地実習指導者による臨床検査技師教育の検証」

松本 祐之(名古屋大学医学部附属病院)

北川 文彦(藤田保健衛生大学大学病院)

加藤 正彦(四日市社会保険病院)

永井 正信(岐阜県厚生連久美愛厚生病院)

大会事務局 E-mail 7thjamte@fujita-hu.ac.jp

大会HP http://www.fujita-hu.ac.jp/~7thjamte/

愛知県臨床衛生検査技師会 生涯教育認定登録団体研究会のご案内 第9回 西三河がんフォーラム

基礎教科：

日 時：平成24年8月30日(木) 18:00～19:30

場 所：安城更生病院 2階 講堂

テ ー マ：「今、放射線治療が面白い」

「今、求められる放射線治療の看護」

講 師：聖隷浜松病院 腫瘍放射線科 部長

野末 政志 先生

がん放射線療法看護 認定看護師

杉村 恭子

司 会：安城更生病院 放射線科

岡江 俊治 副院長

参 加 費：無料

内 容：聖隷浜松病院腫瘍放射線科では、高度な最新の放射線治療装置を基軸に、がん拠点病院として地域のがん診療を支える役割を担っている。中でも、最先端の放射線治療技術である強度変調放射線治療(IMRT)にもかなり早くから取り組み始め、前立腺、頭頸部を中心に400例以上の症例を有する。さらに、OBI-CTを使用することで、正常組織への負担が非常に少ない治療を可能にしている。

しかし、高度な医療技術を支えるのがスタッフのチームワークであることは言うまでもない。専門の医師・専門の技師・専属の看護師・医学物理学士・放射線治療品質管理士等がチームを組み、より質の高い医療を実現していく必要がある。

また、専門・認定看護師の立場から、放射線治療の現場における役割とその意義を考察する。

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信
(第10回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS）は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今月は、「免疫学的便ヘモグロビン検査の手引書」についてご紹介させていただきます。免疫学的便ヘモグロビン検査は、大腸がん検診において必須の検査です。しかし、検体が便という性質上、精度管理上さまざまな問題があり、標準化が進んでいない検査でした。本手引書には、検体の採取から保存、検査方法、精度管理などについてわかりやすくまとめられており、より質の高い検査が実施されることが期待されます。とくに、採便は患者さん自身で行われていることが多いため、わかりやすく、説得力のある説明が必要と思われます。本手引書には、採便方法についてもわかりやすく記載されておりますので、是非活用していただきたいと思います。

（AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会）

トイレでの採便方法については次の3つに分類できる⁸⁾。

- ① 水洗トイレ以外での採便（くみ取り式トイレなど）
新聞紙やトイレトペーパーの上で採便する。

- ② 洋式トイレでの採便

トイレの水との接触を避けるため、便器内の斜めの部分に便を着地させることが肝要である。洋式トイレの座り方としては、通常の座り方で前方にスライドするか、反対向きに座り採便する⁸⁾（図3）。



図3 洋式トイレにおける採便法⁷⁾

- ③ 和式トイレでの採便

トイレの水との接触を防ぐことは難しいがトイレトペーパーなどでAの部分に落下させている現状がある。A-1の場合はまだ水面上の部分が多いので、多くの表面から採取可能であるが、A-2のようになってしまうと、水に接触していない部分が少なく、偽陰性を生じる可能性が高い⁸⁾。

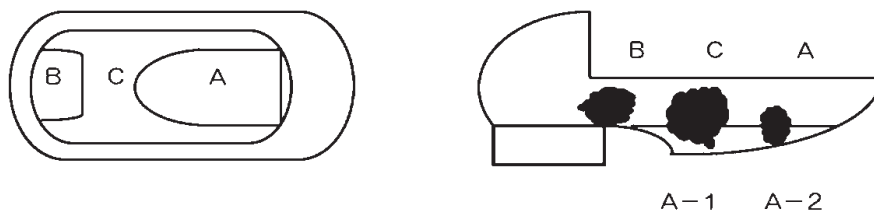


図4 和式トイレの構造と排便箇所⁸⁾